



野の花と風薫る郷から...

'94

広報

たかもり

10

No.422

平成6年10月5日発行



「ソリヤー!!」親の面目にかけて大奮闘

秋



それー引けー!
よいしょよいしょ!



老人会の河原福寿会の皆さんも運動会を楽しみました。



やったー! 一等賞!!

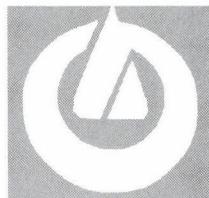
スポーツの秋 河原小 最後の運動会

秋の風物詩の一つに運動会があります。9月18日の日曜日に河原小学校区の運動会がありました。草北小、野尻小とともに来年4月からは高森東小学校として統合されます。明治15年開校、昭和53年に現在の校舎に改築された同校の閉校を惜しみながら、老いも若きも力いっぱい「河原小最後の運動会」で奮闘しました。

人口の動き

(9月1日現在)

世帯数	2,527 (+1)
男	3,916 (+7)
女	4,239 (+9)
総数	8,155 (+16)



高森町民憲章

- 一 水と緑と土のにおいっぱいの住みよい町にします。
- 二 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
- 三 老人を大切にし、子供の夢を育て幸せな町にします。
- 四 勤労を尊び、産業を振興し活力ある町にします。
- 五 スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。

おめでたおくやみ

(1994. 8月受付分)

赤ちゃんたんじょう



児玉 (森)	葵ちゃん (7・29生)	真清美	一さんの長女
津留 (森)	希ちゃん (7・31生)	茂照美	さんの三女
佐渡 (昭和)	朋也ちゃん (8・7生)	政里美	紀さんの長男
白石 (河原)	有沙ちゃん (8・10生)	信ゆかり	一さんの長女
甲斐 (永野原)	誠弥ちゃん (8・16生)	誠美恵子	治さんの長男
甲斐 (横町)	朋代ちゃん (8・17生)	孝千代	美さんの長女
横川 (旭通)	雄士ちゃん (8・23生)	将明子	士さんの長男

おくやみもうしあげます (敬称略)



(住所)	(御遺族)	(死亡者)	(年齢)
野尻	瀬井昭雄	瀬井ツグ	86
津留	瀬井辰義	瀬井好壽	81
尾下	甲斐正勲	甲斐堅生	43
高森	橋本初藏	橋本シマエ	62
永野原	穴見トシ子	穴見道夫	61
上色見	宇藤美佐	宇藤伸悟	1
上色見	安片信子	安片野生男	55
上色見	高倉ヒサエ	高倉来	81

善意の灯

ありがとうございました(敬称略)

- 町社会福祉協議会へ
〈香典返し〉安片信子、甲斐正勲、瀬井昭雄、瀬井辰芳
- 〈快気祝〉遠山昭子、甲斐ヨキ、佐野廣
- 広報送料寄付
山口 明生(山梨県甲府市)

この広報では、町内、町外を問わず、皆さんからのいろいろな情報やご意見、お便りを順次、掲載させていただいております。どうぞ情報をお寄せください。

文化の秋 高森町文化祭

恒例の高森町文化祭が十一月二日と三日の文化の日(町林業総合センター)で開催されます。町文化協会では、この文化祭作品出品と文化に関する色々な展示コーナーの設置を希望される方を募集しますので、奮って応募ください。■出品、出展要項、出品内容(作品数、大きさ、スペースなど)を十月二十一日(金)までに文化協会事務局(役場内教育委員会) ☎2・1111内線169番まで連絡してください。作品の搬入は十一月一日午後二時から四時までに行ってください。

町の移動図書

須坂団地	下町公民館	横町A団地	J A 上色見	J A 上色見	十月十九日(水)	野尻出張所	J A 草北	草部出張所	十月十八日(火)
14時~14時半	13時~14時半	13時~14時半	10時~11時半	10時~11時半	(水)	14時~14時半	13時~14時半	11時~11時半	10時~10時半



町の移動図書の巡回があります。ご利用ください。

読書の秋

スポーツの秋

平成11年 国体熊本県大会開催を前に地域スポーツの振興と普及をめざして

テニス教室受講生募集

平成十一年に国民体育大会が熊本県で行われます。この大会に向けて、町と県ではすでに色々な準備や取り組みを行っています。この取り組みの一環としてスポーツ教室が開催されます。国体競技種目中では本町ではテニスが行われることもあり、地域でのスポーツの普及と振興を図ることを目的にテニスのスポーツ教室が開催されます。参加申し込みと問い合わせは高森町役場内の高森町教育委員会までどうぞ。 ☎2・1111内線169番

- と き 十一月三日午前九時半から
- と ころ 南阿蘇国民休暇村
- 内 容 講義と実技指導
- 講 師 九重幸彦(熊本アカデミーテニスクラブ)丸山透(熊本行政監察事務所)

編集後記

▼うだるような暑さの夏から一挙に「涼しすぎる」秋がやってきました。とうとう雨もほとんど降らず、「実りの秋」になってくれるのか心配です。▼さて今月号は国際交流関係の記事に集中してみました。皆さんが共通して言われることは国際交流に一番大切なことは、まずは相手の国を尊重する心を持つことが大切ということでした。最初は確かに文化や風習の違いに戸惑い、自分の国の文化だけが正しいという考えで単純に比較してしまうだけになります。これは外国と接する機会が極端に少ない「島国根性」とも言える日本人の悪いところであると文化人も語っています。私たちはこの考えから脱却しなければ、真の国際交流はできないのではないのでしょうか。▼広報を作り始めてこの十月号でやっと六号目になりました。右も左も分からないままに作ってきました。皆様色々とお気づきの点があると思います。ご遠慮なくご意見や色々な情報をお寄せください。

燃える 若きやもん



大字高森・旭通
本田 英隆 さん (20)

私の会社の仕事の内容は自動車部品の製造です。新しい部品を製作する時は設計図や設計書を見て、コンピューターにデータを入力。自分が初めて手がけた最初の部品が出来上がった時は感動しました。今まで病院に行ったことが無いくらい健康ですが、これからも体に気をつけて仕事に励みたいと思います。小さい頃から音楽が大好きでした。近頃フォークギターを手に入れたので、練習したりまた他の楽器もやってみようと思います。町にステージのある音楽施設があって色々なイベントがあれば、外からたくさん人が来て観光面や色々なところにも益々活気が生まれます。私たち若い者も楽しんで、魅力と誇りも高まると思います。

プロフィール
★職業 テクノカワバタ株式会社
★趣味 ドライブ、音楽、バスケット

このコーナーに登場する方を募集しています。町内在住で誠意をもって仕事をしている若い者。自薦、他薦は問いませんので応募ください。

11月20日	11月13日	11月6日	11月3日	10月30日	10月23日	10月16日
平本	藤本	藤本	立野	後藤	渡辺	南郷
02	07	07	08	07	02	03
11	00	02	00	00	03	03
6院	0院	0院	1院	0院	7院	1院

診療は午前9時から午後5時まで
※都合により変更になる場合がありますので、テレホンサービスでお確かめください。(2)ー2222)

お知らせのページ

相 談
国民年金、厚生年金、社会保険についての相談を受けます。お気軽においでください。
■と き 十月二十六日(水) 午前十時から午後三時まで。
■と ころ 林業総合センター 二階中会議室
法 律 (無料)
本町出身の弁護士、津留清さんによる無料法律相談が行われます。■十一月十九日(土) 午後一時から三時まで
■高森中央公民館(昭和)

行 政
役場や県・国など行政機関の窓口の対応や仕事の処理などに対する苦情やご意見はありませんか。本町でも次のとおり行政相談が開設されます。秘密は堅く守られますので、お気軽に相談ください。
■と き 十月二十一日(金) 午前十時から午後三時まで。
■と ころ 高森中央公民館
■相談員 本田卓行政相談員
講 習 会
甲種防火管理者
阿蘇広域行政事務組合消防

本部では、消防法施行令第三条第一項第一号の規定に基づき、防火管理者資格取得のための講習会を次のとおり実施します。
■講習日時 十一月十日(木)と十一日(金)の午前九時から午後四時半までの二日間。
■講習会場 阿蘇郡阿蘇町大字黒川一四二三の一消防本部会議室

ご存知ですか? 防災あれこれ

防災ミニ百科。防災に関するテレビ放送があります。日頃から防災の意識を持つためにもぜひご覧ください。

熊本県民テレビ(KKT)で放映
11時25分から11時半まで

10/20 国際化次代の消防 11/3 119番をかけるとき
11/17 住宅防火の安全トリオ 12/1 やけどの応急手当
12/15 上手に使う家庭用消火器

入札結果 500万円以上

工 事 名	工 期	金額(円)	請負業者名
味鳥・多々野線道路舗装工事	9/16~12/10	21,990,500	㈱草村道路建設工業
色見地区簡易水道 水量拡張・改良工事(1工区)	8/29~7/1/31	21,218,000	㈱藤本組
" (2工区)	"	15,892,900	㈱日向屋
" (3工区)	"	17,849,900	㈱平田電工
高森温泉館植栽工事	9/6~11/30	12,257,000	㈱岩下りんどう園
山村振興興阿蘇吊り橋建設工事	9/8~11/10	46,288,200	西田建設株式会社

いつまでもお元気で 8会場で開催

813名をお祝い

草部北部地区敬老会では44名のご長寿を祝う

みんなで考え 支えよう
高齢社会

今年も敬老会の季節となりました。本町でも九月十五日の前後に各校区婦人会との共催により各地区で敬老会を行い、お年寄りの益々のご長寿をお祝いしました。今年のご長寿者は七十四歳が百四名。七十五歳以上が五百八十七名。八十八歳以上が七十八名の七百六十九名と金婚(結婚50年以上)十九組、ダイヤモンド婚(結婚60年以上)三組のご夫婦合わせて八百十三名でした。九月十六日午前十時から開かれた草部北部地区の敬老会には敬老者四十四人中三十五人が出席。今村町長からの祝辞のあと敬老年金と記念品の贈呈。そして熊日新聞社からの金婚ご夫婦に表彰状の伝達などがあり、祝宴では、草北保育園や草北校区婦人会の方々の歌や踊りを楽しみました。

今年急速に高齢者人口が増えていきます。お年寄りに生きがいを与え、寝たきりをおくつていただくことを目的にして町では、長期の視野に立った老人福祉対策を作りましたので、あらためて紹介します。

◆今年急速に高齢者人口が増えていきます。お年寄りに生きがいを与え、寝たきりをおくつていただくことを目的にして町では、長期の視野に立った老人福祉対策を作りましたので、あらためて紹介します。

◆今年急速に高齢者人口が増えていきます。お年寄りに生きがいを与え、寝たきりをおくつていただくことを目的にして町では、長期の視野に立った老人福祉対策を作りましたので、あらためて紹介します。

◆今年急速に高齢者人口が増えていきます。お年寄りに生きがいを与え、寝たきりをおくつていただくことを目的にして町では、長期の視野に立った老人福祉対策を作りましたので、あらためて紹介します。

敬老会日程
▼九月十四日午前十時河原老人憩いの家
十五日午前十時梅香苑 ▼同十一時国民休暇村
▼十六日午前十一時草北小体育館 ▼同日午後二時上色見小体育館 ▼十七日午前十一時草部基幹集落センター ▼十八日午前十一時野尻林業センター ▼十九日午前十一時色見小体育館



草部北部小学校で行われた敬老会風景 お元氣な顔がそよいました



心を込めて手料理を作っていた草北校区婦人会の方々の踊りを披露されました



草北保育園園児が歌や踊りを披露しておじいちゃん、おばあちゃん達を喜ばせました。

青年海外協力隊員募集

青年海外協力隊は、国際協力事業団が実施している政府事業です。開発途上国の人々の新しい国づくりのためにあなたの技術を生かし、世界へはばたく可能性を試してみませんか。

今年約一千名を募集します。二十歳以上三十九歳までの日本国籍を有する方なら誰でも応募できます。派遣期間は二年間で現地生活費、旅費などの経費は事務局が負担します。また、既婚者については配偶者と子女の現地一時呼び寄せ制度(一回限り、経費一部本人負担)もあります。募集説明会は十月十八日と十一月九日の午後六時半から熊本市の産業文化会館で開催されます。

詳しいことの間い合わせは、国際協力事業団九州支部 092・451・3380番(テレホンサービスは092・413・6211番です)または、熊本県総務部国際課 096・383・1111内線3186番までどうぞ。

女性パート募集

テクノ・カワバタでは女性パート職員を募集しています。■募集人員 30歳から40歳までの女性若干名

■仕事の内容 単純機械作業及び補助作業

■勤務時間 午前9時から午後4時まで。土日、祝祭日は休み。作業服上着は貸与します。

問い合わせ、03001 自治大臣へファックス送ってください

国政、地方行政、行財政改革などに関する自由かつ建設的な意見をお送りください。

■ファックス番号 03・3581・6987 (自治省官房広報室で受信)

手作りせっけん用の廃油さしあげます

高森小学校給食室(共同調理場)から出た廃油さしあげます。手作りせっけんの作り方の資料も差しあげます。高森小学校調理場までどうぞ。02・1452

昔の写真募集

阿蘇の自然と文化を後世に伝える

今年阿蘇くじゅう国立公園に指定されて六十年目です。国立公園指定記念実行委員会では「阿蘇山の昔をしのぶ写真展」を企画しています。

広く一般から、阿蘇山・阿蘇外輪・カルデラの生活とのかかわりの中で昔をしのぶ観光と農林・畜産などの懐かしい写真を募集しています。募集した写真の中から選定の上写真パネルにして展示しますのでどうぞ応募ください。

■応募期間 十月二十日まで。■サイズ カラー・モノクロの違いやサイズも問いません。■写真は複写の上お返しします(記念品を贈呈)

■採用した写真は提供者の名前を付けて展示します。

■連絡先 0869・22 阿蘇郡阿蘇町黒川一八〇九州地区国立公園・野生生物事務所 0967・34・0254

金婚ご夫婦表彰

今年次は次の十九組のご夫婦が熊本日日新聞社から結婚五十周年の表彰を受けられました。



竹石 元久さん(77) テルさん(69) (高森・天神)



岩下 亀さん(76) ユリ子さん(74) (高森・森)



津留 明さん(75) ハルコさん(78) (高森・津留)



佐伯 哲男さん(74) 喜彌さん(66) (上色見・中原)



高倉 一人さん(75) ツカエさん(70) (上色見・中原)



馬原 廣雄さん(85) マツ子さん(72) (高森・下町)



桐原 央吉さん(76) 寿さん(72) (高森・上町)



熊谷 保武さん(71) ハルエさん(69) (芹口・芹口)



小崎 信幸さん(69) 多智子さん(68) (草部・灰原)



工藤 末晴さん(76) ツミさん(68) (色見・山鳥)



宇藤 明さん(77) ツイさん(71) (色見・西丁)



甲斐 照義さん(76) シズエさん(70) (野尻・津留栃原)



榎木野 篤さん(83) 満さん(74) (津留・平)



甲斐 末彦さん(75) ツヤ子さん(69) (矢津田・高尾野)



宮川 惟文さん(80) (入院中) スガさん(74) (永野原・大橋木)



栗焼 楠男さん(78) フミ子さん(71) (野尻・井上)



瀬井 信男さん(76) モモ子さん(71) (野尻・井上)



瀬井 惟芳さん(80) つよ子さん(73) (野尻・川上)



瀬井 達老さん(73) 針子さん(69) (野尻・川上)

県のイベントのお知らせ

アジアを知る アセアンウィーク

近年急速に関心が高まっているアジア諸国。中でもアセアン諸国は世界的に高い経済成長を遂げている地域でもあり、県民の関心も高まっています。そこで、広くアジアを知ってもらおうと次のとおり、アセアンウィークを開催しますので来場下さい。

- ★アセアン諸国パネル展示 10月27日から30日まで。熊本市下通アーケードの城屋ダイエー前で開催。
★アセアン映画上映 10月29日(土)午後3時から熊本市上通りのフィーリングホールで開催。
★アセアン関係講演会 10月29日(土)午後1時半から熊本市上通りのフィーリングホールで開催。詳しいことは県国際課096-383-1111内線3196まで。

うまか~にばる熊本'94

11月2日から6日(日)まで 「食」を通じた環境・文化・ヒトのふれあいがテーマのイベント
県立劇場(11/2日から4日)ではふるさとの食の歴史と今にふれて、自然の恵みの豊かさが体験できます。
県の農業公園(11/5日から6日)では食文化の実体験から、自然とヒト、家族や仲間の楽しい交流をつくります。
熊本市総合女性センター(11/2日から6日)では、熊本の食文化を暮らしに活かすアイデアを提案し、未来の食生活につなげます。
詳しいことは事務局096-387-6171まで

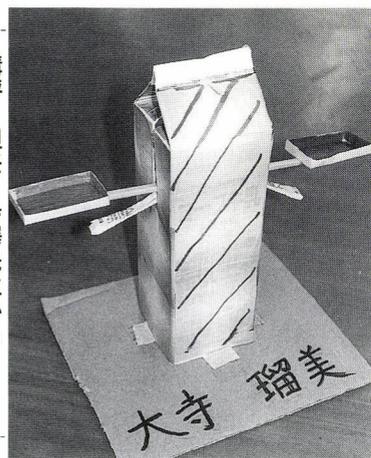
わたしたちの作品

高森小学校

工 作



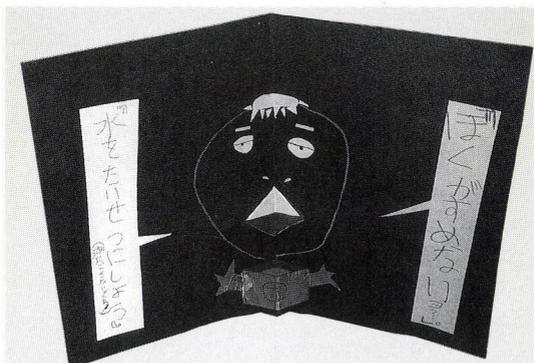
理科実習道具
てんびんばかり
4年2組
大寺 瑠美 さん



講評 担任 寺澤先生から
「てんびんばかり」は、理科の実験道具として、とても上手に作られています。紙をうまく使って、バランスよく作られています。お褒めします。大寺さん、おめでとう。お褒めします。



開き絵
4年1組
石田宗一郎 くん

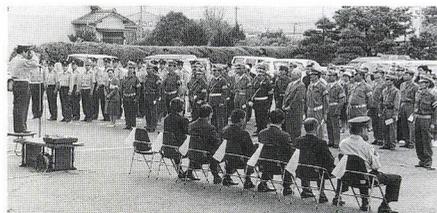


講評 担任 後藤先生から
カードを開くとカップの口が開いて「水を大切にしよう」と語りかけてくるようです。シンプルなのに、子どもらしい、それでいて水の大切さや水不足になったら大変ということを私たちに教えてくれる作品です。【ほくのすきなもの】「食べるものは肉料理。勉強では図工が好きです。」

高森警察署管内の死亡事故実例

期日・時間 8月17日(水) 午後6時18分頃
場 所 長陽村立野 国道57号線
状 況 横断中の68歳の女性がライトバンに跳ねられ即死。

期日・時間 8月27日(土) 午後3時20分頃
場 所 蘇陽町方ヶ野 国道218号線
状 況 追い越し中のトラックが普通乗用車に激突し、普通乗用車を運転していた68歳の女性が死亡。



9月21日に高森警察署で行われた秋の交通安全運動の出発式。高森署管内の5町村の町村長や交通指導員などが出席し、この後それぞれ街頭キャンペーンを行いました。

高齢化がこれから益々進む中で、お年寄りの運転や散歩などで出歩かれることが多くなっています。事故にあたり、起こしてから悔やんでもしかたありません。みんながいつも交通事故にあわないように、起こさないように気をつけましょう。



激増！お年寄りの事故
すでに三十名のお年寄りが死亡

八月末日現在で、県内では六千九百件の交通事故が発生。これは去年の同期よりも三百十二件も多くなっています。死者も百三名(十七名増加)内三十名のお年寄りが死亡(ケガをした人は八千九百七十二名(三百四十八名増加))高森署管内でも二名の方が亡くなられています。運転や歩行の際は充分気をつけましょう。

運動期間内の交通事故

	高森署管内	高森町
人身事故件数	3	0
死亡者数	0	0
ケガ人数	5	0
物損事故件数	21	4
件数合計	24	4

今年も九月二十一日から三十日までの日程で秋の交通安全運動の重点目標は「高齢者の交通事故防止とシートベルトの着用」で、運動期間内の状況は別表のとおりです。「シートベルトを着用されていない方がまだまだ見かけられます。熊本県下で運転及び同乗されている死亡された方々の内、約六十%の方々はシートベルトを着用していれば助かったと思われまます。シートベルトはあなたを守ってくれる「命の綱」です。ぜひ着用してください。」と高森署交通係では話されていました。

秋の交通事故
防止運動の結果

阿蘇全域に『ゴミポイ捨て禁止条例』

10月1日から施行 違反者は法台を公表



たまにはありますが、車窓からのタバコの吸殻や空き缶の投げ捨てを見かけることがあります。これは私たち一人ひとりのモラルの問題であり、子どもたちには絶対見せたくない光景です。このほど、阿蘇郡の十二の町村が一斉に、全国でも珍しい「阿蘇広域環境美化条例」を制定しました。これは、空き缶やゴミによる環境の破壊を防止して、私たちの阿蘇をいつまでもきれいにしようというものです。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

阿蘇広域環境美化条例の内容

- 一、町や村は地域の環境美化のためにゴミの散乱防止やリサイクル・回収団体の育成などの総合的な取り組みをします。
- 二、旅行者や住民は空き缶、空き瓶、紙くず、タバコの吸殻、ガムの噛みかすなどのすべてのゴミは、ちり箱などに入れるか、持ち帰って適正に処理しなければなりません。絶対に道路や河川、公園、山野や農地など、いかなる場所にも捨ててはいけません。
- 三、容器、飲料の製造、販売業者は消費者へ環境美化を啓発し、販売箇所に回収容器を置かなければなりません。
- 四、土地、建物の管理者は、利用者への環境美化啓発と、施設の清掃をして美化を図らなければなりません。また公園、広場、駅などにはごみ箱を設置して、適正な維持管理をしなければなりません。

文芸

肥後狂句

(阿蘇御神火会)

父親似 もうダービーで人氣馬
非常口 二度確かめて眠らした
ズドン 飛び立つ真似もせんカラス
今年は違う 湖底の母校訪ねたつ
ペンションで 病み付きイなる草木染め
ハーモニカ 分教場の甦る
父親似 唄は伴奏そつちのけ
ハーモニカ 庭の小鳥とコンサート
ズドン 山芋掘りが忌中札
ペンションで 凶鑑な眠るひまん無ア

俳句

(高森菜の花句会)

何事もなかりし如く月澄めり
参道に萩の風あるお彼岸会
星月夜独り夜空の人となる
木犀の咲き始めし事風で知る
久闊の日傘の陰をもやいつつ
月出でて山気漂う荘に酌む
安らぎは虫の声ききつ終い風呂
八千草に乱れ乱れてある秩序
だんだんに数の減りゆく秋つばめ
彼岸花供えて留守をお願いし
秋の宵地酒かたむけ故郷思ふ

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 岡本 琴司 | 馬原 馬笑 | 林 不忘 | 田上 黙公子 | 林田 一声 | 松野 笑声 | 熊川 豊泉 | 堀田 蘇仙 | 浦塚 南天 | 渡辺 雲海 |
| 弥永 ふき | 内田 フミ | 吉井 千恵子 | 桐原 寿子 | 山村 ふみ子 | 林 久恵 | 古庄 泰子 | 平田 り子 | 馬原 要子 | 岩下 扶美 |
| 渡辺 恵 | | | | | | | | | |

みんなのひろば

わたしも まだまだ 若きやもん

上在の岩下芳子さん 趣味を活かして健康生活

大字高森、上在の岩下芳子さん（大正三年生まれ今年十一月九日で満八十歳）は、日本舞踊やゲートボール（審判員資格所有）、書道や手芸など、たくさん趣味を楽しみながら元気に過ごされています。「ボケ防止には趣味を持って楽しむことが大切。特に手先を動かすことは脳の働きを良くします」と話される。毎日規則正しい生活とともに、菜園での野菜作りと買い物も元気に歩いて行かれ、「これも足腰の鍛練です。足腰弱らないように気をつけています」と言われる。岩下さんは、三男二女の五人の子どもさんとお孫さんが十人。盆正月の家族の帰省を楽しみにされ、福岡在住の娘さん二人は近いこともあり、よく帰って来られるそうです。人形作りはその娘さんから教えてもらって、今年十体のたいへん愛くるしい「赤ちゃんハイハイ姿人形」を作られました。一つ作るのに三日間かかり、自分の子どもを手放すようで寂しいが、自分と同じ一人暮らしのお年寄りにプレゼントしたいと町に届けられました。人に迷惑をかけないことと、人のためになることをすることがモットーと言われる岩下さん。町では大切にお預かりして、一人暮らしのお年寄りの高齢の方から十人にお渡ししました。また岩下さんは三年前の敬老会でも、匂い袋二百三十個を敬老者にプレゼントされています。ありがとうございます。いつまでもお若く、お元気にお過ごしください。



十体の愛くるしい人形を寄贈

高森少年剣道クラブでは、幼児や小学生や一般の方の募集をしています。これを機会にぜひ剣道を始めてみませんか？

剣道募集

親子で体と心を鍛えませんか!!

高森少年剣道クラブでは、幼児や小学生や一般の方の募集をしています。これを機会にぜひ剣道を始めてみませんか？

ボランティア

「ご苦労さまです」

9月3日の早朝から、南在の老人クラブ若葉会の40名の皆さんが、別所の堤や中坂峠などで草刈りと空き缶拾いなどの清掃奉仕作業をされました。

皆さんは毎年春と夏の2回ずつこの奉仕作業をされています。「空き缶を一生懸命拾っても、次の作業時にはまたいっぱい落ちています。空き缶やゴミを捨てるのはいけないことと知っているはずなのに、どうして捨てるのでしょうか」と話されていました。



礼節を重んじて日々の練習を励む

高森町少年柔道クラブ

高森町少年柔道クラブでは、毎週火、木、土曜日の夜に高森中学校体育館の柔道場で練習を行っています。柔道は「礼に始まり礼に終わる」と言われるように、礼節を重んじて精神の鍛錬を行うことが第一の目的とされるスポーツです。現在本町の少年柔道クラブは、小学生十名、中学生四名、高校生二人の十六名で女子部員も頑張っています。（部員募集中です。）指導は郡体常勝の高森町柔道部七名の社会人の先生たちが行っています。それぞれ忙しい中に仕事を終えた後、特に子どもたちの心の教育に重点をおいた熱心な指導をされています。同クラブは毎年四回の大会と八月下旬に郡内の少年柔道クラブが一堂に会する合宿に参加するなど、チームワークを大切に活動しています。



■ 郡少年柔道大会成績（8/26）
小4の部2位 三井大徳 小3の部3位 長崎正史
小2の部3位 栗屋 薫 小1の部2位 三井康生
同3位 甲斐雄大
■ 南部防犯協会主催柔道大会（8/19）
小1・2年の部2位 甲斐賢史朗

ゴミの内容別分類が行われた結果 ゴミ焼却場の残灰が4割も減少

引き続きゴミの分類にご協力を！

きちんと分別したから良いというわけではありません。捨てられたゴミの残灰や不燃物の処理にも莫大な費用がかかっています。ゴミを少なくする工夫が大切なことです。

皆さんの理解と協力によって、ゴミの分別収集が進んだ結果、可燃物処理場の残灰が40%も減少したことは喜ばしいことです。しかしまだまだ完全には徹底されていませんし、粗大ゴミや産業廃棄物の不法投棄が後を絶たないことなど残念な現実があります。物の有り余る日本。物を大切にせず、不要な物まで買い込んでしまっています。ゴミを減らすために、私たち一人ひとりが根本から考え直してみたいものです。



不燃物のゴミ袋の中に可燃物が混じる状況もよく見られる。

正しく分類されたゴミ、このゴミから新しい「命」が生まれます。

地球の資源には限りがあります。ゴミは資源のもと。分類すればゴミも立派な資源。

ゴミを作らない、出さない工夫。たった一回の使用で捨てられる包装紙の「悲劇」

小さな品物の紙袋入れなど、 unnecessary 包装は買う方から遠慮しましょう

山や谷はゴミでいっぱい

自然を破壊する

不法投棄

私たちは豊かな自然に囲まれています。しかし、この自然が、ごみ不法投棄のために破壊されているのです。幹線道路から入り込んだ谷や林道、牧道沿いの谷、山林のくぼ地など車が行ける所、いたるところにごみ捨て場になっていきます。洗濯機や冷蔵庫などの家電品、建築廃材（トタン板、外



装ボード、瓦がれき）、ビニールハウスのパイプ、農業用廃ビニール、自転車、マットレス、更には空き缶、空きびん……あらゆるごみが捨てられています。

これらのごみは簡単に腐らないもので、景観を壊すばかりでなく、雨が降るたびに下流に流され、家庭排水と共に河川汚染の大きな原因になっています。平成五年に町が行った調査

では、二十二か所、推定約三千トの不法投棄がありました。この数字が一部であることは言うまでもありませんし、除去するためには膨大な経費が必要です。不法投棄を防止するため、フェンスの設置、看板の設置をしていますが、根本的な解決にはなりません。不法投棄に大きな割合を占める粗大ごみについては、収集日に出すことができない方のために、クリーンセンターへの直接持ち込みをお願いしています。時間は月曜日から金曜日の午前九時から午後四時までとなっています。後世にこの豊かな自然を残していくために、ごみの不法投棄は無くさなければなりません。

第5回九州山村留学交流会

カナレポート

8月27～28日 奥阿蘇キャンプ場で開催される



九州内の4つの山村留学団体と地元草部南小PTAなど180名が参加して、にぎやかに交流を深めました。この日は午後から雨が降り出して、キャンプファイヤーも中止。焼き肉パーティーはパーゴラ（藤棚）にテントシートをかけた後、色々な世話に、実行委員会はおおわらわ。交流会場も急遽草部体育館に変更。阿蘇町のボランティアグループ「あそBe隊」の演奏やゲーム。南在の巫女舞いと地元草部中学生の神楽などがあり、大人も、子どもも楽しいひと時を過ごしました。次の日は快晴。ラジオ体操をして基幹集落センターでお母さん達の心のこもった朝食をいただきました。その後記念の手作り木製ペンダントを作り、最後はとうきび狩りもしました。楽しい2日間はあっという間に終わり、楽しい思い出を胸に、別れを惜しみながら交流会の幕を閉じました。



草部南部小の保護者会のお母さんが、料理作りなどで大会を完全にバックアップ。交流会でもゲームなどを楽しみました。



草部南部小の先生方もこの大会に全面的に協力。交流会でも大ハッスル。積極的にリードしていただきました。



ゲームに熱中する子どもたち。



28日は快晴。最後はみんなでとうきび狩り。たくさんとれました。

山村留学九州連絡協議会加入団体

- ★熊本県 やまびこ山村塾（熊本）
- 市 産山北部山村留学（産山村）
- くさかべ山村留学（高森町）
- ★大分県 赤石小山山村留学（前津江村）
- ★鹿児島県 霧島山村留学（霧島町）
- ★福岡県 津野山村留学（添田町）
- ★佐賀県 やまばと山村留学（富士町）

『元気で帰国しました』 直撃レポート

昨年8月から1年間、アメリカのモンタナ州フラットヘッド郡、カリスペル市に家族5人で海外研修に行っていた大字高森・森の後藤正三さん一家が8月6日に無事帰国しました。その1年間の交流や生活のことなどをインタビューしました。紙面の都合上、今回は生活や英会話。国際交流の意義などについて報告します。後藤さん夫妻が特に強調されたことは、「海外に行くためには目的意識をはっきり持つことが大切」ということでした。国際交流の方針を定めるためのたいへん参考になる話がたくさんありました。これから海外に留学などで行きたいと思っている人は多いことと思います。このレポートをしっかりと読んで参考にしてください。

International Relationship

真の国際交流は、実際の体験と心のふれあいから

表記説明

後藤：後藤正三さん
 勝子：妻、勝子さん
 智子：長女、智子さん（小五）
 正博：長男、正博くん（小三）
 将匡：二男、将匡くん（小一）

生活面について

広報 一年間の研修お疲れでした。もう日本の生活に戻れましたか？



後藤 向こうでも、家庭内では日本語を使い、日本食を食べていたので、帰ってからも生活面では何も不自由は感じませんでした。食生活は、車の右側通行に慣れていましたので、帰ったとき運転して左折が恐かったです。広報 向こうでの生活、特に受け入れ体制や反応はどうでしたか？



勝子 食料品や生活用品は何でもあったので、特に不自由は感じませんでした。私が事務所を置いていたところの方々や公的機関と近所の人達も大変良くしてくれました。広報 訪米の目的について理解してもらえましたか？

後藤 会う人会う人、何の目的で来たのかと聞かれました。日本では国際交流の文字で大体のことは分かりますが、外国では具体的に言わないと分かってもらえません。そういう時に私は、「アメリカ（モンタナ）を知り、また日本を知ってもらいたい。あらゆる人と友情を深め、今後日本（高森）とモンタナ間の様々な関係を深めていくため」と説明しました。生活面では問題は無く、回りからも歓迎されました。

交流について

広報 だいぶ色々なところで交流をされたようですね。後藤 行く前から事前勉強と県などから情報を仕入れて、研究して行きました。（詳細は広報誌のモンタナ便りのとおりに）妻も私も、とにかく会場には何でも参加しました。積極的な行動をしないと受け入れてもらえません。



勝子さんは小学校で折り紙の紹介をしました。また大学の自由講座で着物の紹介などもしました。



正博 僕もたくさんできました。いつもみんなと近くの川に釣りに行っていました。

広報 子どもさんたちは友達がたくさんできましたか？
 智子 はい。たくさんできました。文通の約束もしました。別れる時は寂しかったです。



将匡 僕は友達とおもちゃの取り合いでケンカもしました。後では仲直りしました。後藤 将匡はガールフレンドもできたんですね。（二同笑い）

英会話について

広報 交流のためには英会話が必要でしょうが、特に子どもさんたちはどうでしたか？
 勝子 学校が始まって最初の一月は、泣きながら行くという状況で、大変心配してきました。しかし少しずつ分かってきたようです。智子と正博は四カ月目位、将匡は五カ月目位で分かってきました。

智子 みんなの話していることが急に「パツ」と分かれる感じがした。広報 すごくいいですね。やっぱり実地のヒヤリングが最適ということなのでしょうか？



草部南部小の先生方もこの大会に全面的に協力。交流会でも大ハッスル。積極的にリードしていただきました。

みんなのひろば

女子ソフトチーム 県体育大会で優勝

七月に本町で行われた郡体育大会で優勝した女子ソフトボールチームが、九月十八日に玉名で行われた県体育大会で見事優勝を飾りました。同チームは第二十七回大会でも優勝しており、今回は二十年ぶりの快挙となりました。一・二回戦は無失点。三回戦は三点を失ったものの、その後得点を重ねて五回コールドゲーム成立。特に決勝戦では昨年の優勝チーム八代市を下しての内容面でも充実した大勝利でした。



試合結果は次のとおり。
一回戦 対牛深市 5対0
二回戦 対宇土市 3対0
準決勝 対上益城 10対3
(五回コールドゲーム)
決勝 対八代市 1対0
監督 宇藤 晴幸
コーチ 野尻 英夫
主将 荒牧 幸子
選手
古澤みさ子 長岡理恵子
佐藤 咲子 住吉 恵美
芹口 幸代 瀬井 マリ
瀬井 美鈴 今村きく代
工藤 照美 芹口 直美

私はレポーター

高森町食生活改善
推進協議会
会長
岩下和子



私たちの協議会では日本の食生活の良さ、特に魚料理を見直して健康づくりに役立たせようと、八月二十二日に町内各地区のリーダー四十五名が「もっと魚を食卓に」をテーマにして、天草に研修に行きました。

本職の板前さんに指導していただき、魚調理と盛りつけや配膳までの実習をしました。その内容はエビの姿焼き、イカのさばき方とかわの取り方、刺身の切り方、コノシロ寿司を作るときはさばき方や平目の三枚おろし、鯛の活き作りなどでした。一人ひとりの料理を見て先生方から「プロ顔負けです。皆さん上手ですね?」と言われてみんな思わずニッコリ。和気あいあいとした楽しい有意義な研修でした。

これから、食欲の秋もやってきますし、お正月の料理などにも利用できますので、各地区のリーダーの方のいきいき健康教室の講習の際にでも、皆さん習っていただき、魚料理をたくさん食べてみんなで健康になりましょう。



魚のウロコ取り
吸物や煮つけにするときなど、さばいた魚を沸騰したお湯の中に「サツ」とくぐらせてから冷水につけるときれいに取れます。お試しください。

『みんなのひろば』の作品・記事を大募集

この広報では、親しみやすい紙面づくりのために、皆さんからの作品を募集してきました。これからも次のとおり募集します。奮って応募ください。

- 習字 硬筆 絵画 マンガ
- イラスト 工作 写真
- 詩歌 短歌 俳句
- 肥後狂句 英語の詩
- 大会や研修会レポートなど

「子ども」も「おとな」もみんなで作る広報たかもり

詳しい内容の問い合わせと申し込みは……
役場 総務課 広報担当
岩下まで どうぞ

後藤 それも言えますが、相手の態度や反応を読みとる慣れがそうさせるのだと思えます。しかし子どもの会話は、あくまでも子どもの会話です。単語や文法も話し相手の会話能力までしか発達しません。英会話よりも、外国を見て自分達なりに考えてスケールの大きい人間になって欲しいと思つて連れて行きました。ですから、子どもたちの日本語が乱れはしないかと、その方が心配でした。



子どもたちも「子ども大使」として立派に色々な国際交流をしてきました。

自分の国の文化だけが正しいと思つるのは絶対に間違いだと思います。
後藤 日本人は日本の文化そのものをもっと知る必要があると思えますね。
勝子 私もそう思いました。簡単な例えですが、日本の商品の価格を知らないなら、アメリカの同じ物が高いか安いかわかりません。一箱です。後藤 その比較の基準が文化という「ものさし」なんです。それをしっかり持つ事が国際交流の第一歩と言えると思えます。「日本を知らない日本人が世界を見ようとする」ことが一番問題だと思います。後藤 ありがとうございます。またモンタナに行きたいですか? 智子 絶対行きます。お父さんがだめと言つても行きます。正博 僕もまた行って、友達と魚釣りをしたいです。将匡 僕も山にいるシカやリスを見に行きたいです。後藤 将匡はガールフレンドにも会いたいもんね。(一同大笑)



送別会での楽しい交流風景



モンタナの高校生 高森でホームステイ
八月三日から十三日まで、モンタナ州カリスベルの高校生五人が高森高校生宅などでホームステイをしました。五人はマーチングフェスティバル見学、海水浴や熊本市内観光など各ホームステイ先の温かいもてなしを受け、また高森高校生との交歓会などにも出席して交流を深めました。

- 写真右から名前と受入れ家族名。(学年は日本の学年にあわせています。)
- ジャスティン君 (高二) 色見 安方さん宅
 - マット君 (高一) 高森 福永三男・竹原秀喜さん宅
 - セイディーさん (高一) 高森 馬原敏二さん宅
 - ジュリーさん (高一) 高森 内田健二郎・瀬井幸一さん宅
 - アンナさん (高一) 高森 三井治男・山辺捷二さん宅

初めての日本。五人のアメリカの高校生の目には日本はどう映ったのでしょうか。これからの国際交流のあり方を考える上でも、大変興味があるところです。広報企画としてアンケートをとりましたので、次号で詳しく紹介します。

国際交流

真の交流と理解は実際の
体験と心のふれあいから



この海外研修は南阿蘇6カ町村の教育委員会合同で企画実行。今年の担当は蘇陽町。村上國雄蘇陽教育長を団長に、同町と来年度担当の西原村の両教育委員会、各町村の青年団と南阿蘇8校の中学生30名など、合計41名が参加しました。本町では、青年団から赤星直光氏、高森東中から藤本茂樹君と渡辺友美さん、高森中から本田江君の4名が参加しました。

違いを認め合い 尊重し合う真の国際人をめざして

南阿蘇の中学生 大韓民国に行く

第4回 南阿蘇中学生海外研修

近年の世界情勢は目まぐるしく変化しており、国際的な動向が直接日本に対して大きな影響を与えることも多くなり、また、世界に対しての日本の役割と責任も年々増大しています。

しかしながら、日本人は「世界の人」とのつき合い方を知らない民族と言われます。「イエス・ノー」をはっきり言わないとか、「何を考えているのか分からない民族」などと言われます。これは私たち日本人が外国とのつき合う機会が少ないことの問題と同時に、民族性の一つである、常に相手のことを考えての発言や行動をするいわば「謙虚さ」に

対しての誤解からくるものと文化人は評してします。これを日本文化の良いところと言いたいところですが、国際間の経済摩擦問題など大きな問題ではなく、今後このことは様々なところで身近に私たちに関係してくることが考えられ、外国と直接接して、文化や風習の違いを相互に理解し合い、「世界の人」とのつき合う方法を学ぶ姿勢を持つことが大切です。

そういう意味から南阿蘇六カ町村の教育委員会では、中学生による隣の国、韓国でのホームステイの体験から、異国文化や人情を実際に体験して「真の国際人」的感性を養い、世界に貢献する人材の育成を図ろうと、平成三年から、中学生海外研修を行ってきました。今年は八月十六日から二十日までの四泊五日の日程で、三十人の中学生がソウルや扶余(ブヨ)などの見学とホームステイを行いました。

ホームステイでは、受け入れていただいたご家族みなさんの心のもった温かいもてなしを受けてみんなが感動しました。そして「言葉は通じなくても、心は通じます。初めての異国という事で最初は緊張しましたが、『小さな親善大使』という役割を自覚して、身振り手振りでも、一生懸命に心を込めてホームステイ先の方と交流しました。国際交流については今まで考えたことはありませんでしたが、自分なりに一生懸命考えることができた良い機会でした。」と感想を述べていました。

家庭教育

子どもたちの
すばらしい
未来のために

焦らずに心を育てましょう

子どもの成長や性格は十人十色

子どもの心が見えますか？

増える「子育てが楽しくない」という訴え

こ 数年「子育てが楽しくない」「わが子がかわいくない」と、医療関係者に訴えるお母さんが増えてきています。訴える多くは、育児疲れによる愚痴と考えられます。しかし、なかには「子育てが楽しくない」などの気持ちが高じて



親の理想を子どもに押しつけない

な せ、子どもがかわいいと思えなくなってしまうのでしようか。一つは競争社会からくるひずみ原因といわれています。自分の子どもを他人の子と比較したり、親の理想を子どもに押しつけた



りする現在の環境が、こうした結果を招く要因というのです。

例えば、乳幼児では「うちの子は、まだトイレに一人で行けない」「しゃべり出すのが、ほかの子より遅い」などです。これは、はっきりいって親の

競争心です。親の望み通りにいかないからといって、子どもを責めるのはよくありません。

また、働いているお母さんは、仕事でのストレスがたまっているから、つい子どもに手を出してしまう傾向があるようです。家に入る前に気持ちを切り替え、家では子どもに愛情を注いであげてください。

子どもの成長や性格は、十人十色です。焦らず、わが子を育ててはいかがでしょうか。

優しい気持ちを歌で伝えましょう

子

どもは、乳幼児のころから子守り歌を通して優しさを味わう体験をさせてください。そうした体験をさせることで、優しい心をもてると考えられています。その一つが、子守り歌です。

といっても「江戸の子守り歌」や「中国地方の子守り歌」など、いわゆる子守り歌だけをいっているわけではありません。唱歌や童謡、歌謡曲や流行歌などでもいいのです。お母さんが、子どもに歌ってあげるといふ行為が大切なのです。そのときに、自分の嫌いな曲を歌う人は、まずいでしょう。聞いていて楽しくなる歌、なごやかになる歌、気持ちの落ち着く歌などを選ぶ



はずです。それを子どもに歌ってあげてください。

その優しい気持ちは、必ず子どもに伝わります。そして、お母さんが大好きになります。つまり、優しい気持ちを(信頼する心をもつようになるのです。もちろん、親子のコミュニケーションは深まります。

苦しいときやつらいときに効果がある

核

家族化が進み、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に住んでいない家庭が多くなりました。こうした家庭では、子育てを助けてもらう機会が減ります。そして、母親のストレスが、子どもへの虐待につながるのです。こうした環境に

いるお母さんは、たくさん子守り歌を歌ってください。子守り歌には、お母さんの心をなごませる、勇気づける、幸せな気持ちにさせる効果があります。子育てが苦しいときやつらいとき、自分への応援歌としても歌いましょう。

高森温泉館 建設状況報告

「内部の工事 順調に進行中」

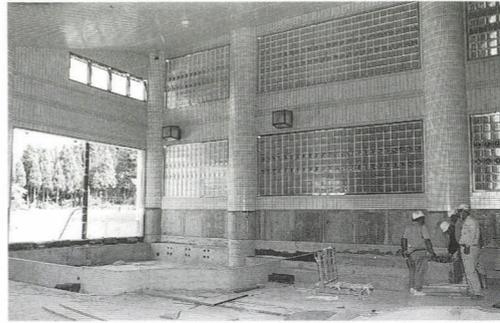
皆様お待ちかねの、高森温泉館の工事が着々と進み、完成間近です。

今月は内部の浴槽部分の写真を撮ってきました。まだ完成までには色々といろいろありますが、だいたいの雰囲気はつかめました。阿蘇山も展望できます。大広間も工事が進んでいます。

工事の進捗状況は92%（十月一日現在）で、予定どおり順調に進んでおります。オープン日は十一月中旬頃の予定です。決まりしだい新聞チラシなどでお知らせします。

もう「秒読み」段階に入ってきました。

みなさん。もうちょっとで、高森でも温泉に入れるようになります。どうぞお楽しみに。



来年の開村を楽しみにして 鍋の平キャンプ村閉村

大字高森の駐在員さん鍋の平の活性化に一役



7月8日開村して、今年もたくさんの人達に夏の思い出と感動を与えた鍋の平キャンプ場が

8月30日に閉村しました。

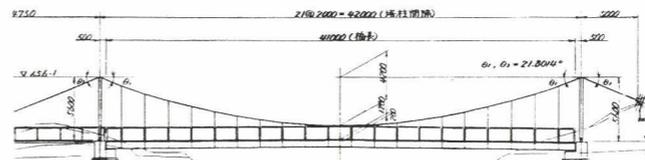
来年も7月10日前後の開村となります。閉村間近の8月27日に大字高森の駐在員さんたちが鍋の平でキャンプをしました。

これは鍋の平に親しみ、活性化にもつなげる一役になろうと、毎年キャンプをされているものです。「涼しいし、山や自然に親しむことは大切なこと。施設も整備されたし、来年もたくさんの人に鍋の平に来て欲しいですね。」と話されていました。

奥阿蘇キャンプ場横に 吊り橋がかかります

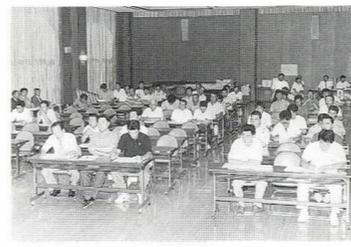
四月二十八日に奥阿蘇物産館がオープンし、七月に年間を通じて利用できる奥阿蘇キャンプ場がオープンしてから、たくさんの人達が訪れました。このキャンプ場から奥阿蘇大橋方向に吊り橋がかかります。長さは四十一mで奥阿蘇大橋に歩いて行くのに便利になります。（入札結果は23ページをご覧ください。）

奥阿蘇吊り橋



郡林業研究グループの集い開催される

林業を取り巻く環境は、林業者の高齢化と木材価格の長期的低迷、経費の高騰など依然厳しい状況にあります。郡内十三の林業研究グループでは、これらの現状を打破して地域の発展と林業の活性化を図るために、常に最新の林業技術を研究するなど、林業問題解決の最前線たる意気込みで活動されています。郡内の「林業研究グループの集い」が八月十八日に林業総合センターで開催されました。本町にも草南と草北の二つの林業研究グループがあり、日々それぞれに活発な活動をされています。



韓国への旅

高森中学校一年 本田 江

八月十六日午前十時、福岡空港からソウルへと飛び立ちました。約一時間半程でソウル金浦空港に到着。ホームステイする家族との対面式が行われた百済広場では、歓迎の旗で温かく迎えてくださいました。外国ということで抱いていた不安も、この温かい歓迎でいっぺんととんでしまいました。

僕が久木野の今村さんと一緒にホームステイでお世話になったご家庭は、趙（チエ）ナムソンさんといわれ、ご夫妻と「ズンヒョン」君という中学三年の男の人とお姉さんの四大家族でした。夕食は肉、魚料理でたいへんおいしかったです。辛いキムチも食べてみました。ナムソンさんから、シャツをいただいたり、近所とても親切な店に買い物に連れて行ってもらったりと、たいへん親切にしてもらいました。

その夜は私たち中学生三人で一緒に寝て、身振り手振りで学校や色々なことを話したりしました。

二日目はみんなでキャンプです。「民族遊び」など様々な交流で、韓国の子どもたちとふれあうことができてよかったですと感じました。三日目はもうお別れの日です。お世話になった皆さんと飯法師さんの通訳とお話して、手紙や再会の約束をして、色々話しをして



本町からの参加者4名 左から渡辺友美さん、藤本茂樹君、本田江君、青年団の赤星直光さん



今回の旅が健康で過ごせたこととお世話になった、チェさん一家に感謝し、自分にとってこれからの夢につながる大きな希望になったと思います。また、ぜひたい行きたいと思っています。

私たちが行った百済は日本との関わりが深い国で博物館や「自然学習院」などで百済文化を学習しました。また民族村や独立記念館も見学することができました。

来月号では高森東中三年の藤本茂樹君と渡辺友美さんの研修レポートを掲載します。

百済の都 扶余をたずねて

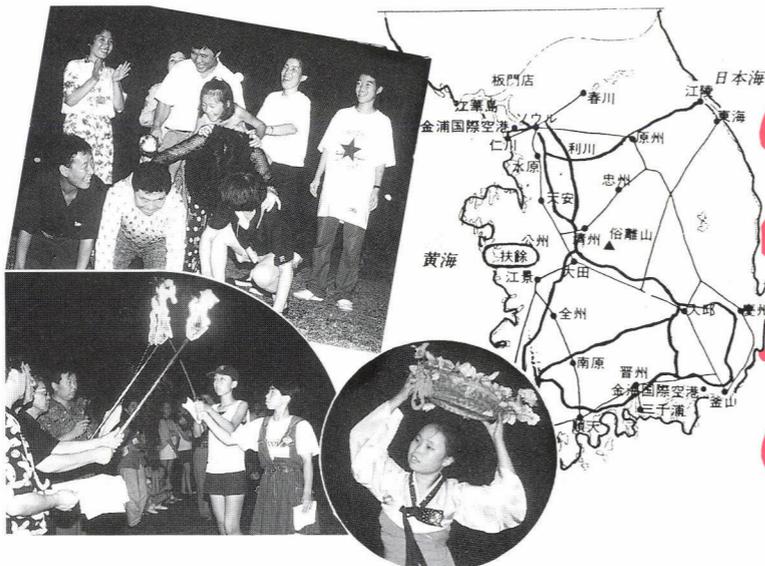
久木野村 飯法師昭誠（県登録韓国語通訳）

私は南阿蘇の六つの町村からの依頼により、昨年からの交流に通訳としてお手伝いをしています。南阿蘇のためならという気持ちと私の勤務先の理解もあり、今年も8月16日からの4泊5日同行しました。16日（火）私たちを扶余の人たち（百済青少年の星）は大歓迎してくれました。生徒たちはホームステイ先の家族と対面し、それぞれに家庭を訪問。トウガラシで真っ赤に染まったキムチなど、韓国の食事に戸惑ったようですが、扶余の皆さんは温かく受け入れてくれました。

17日の交流会での色鮮やかな衣裳をまとった、韓国舞踊の紹介やレクリエーションそして名所旧跡の見学をしながら両国の交流が深まっていったようです。その間も休む間もなく通訳をしましたが、その話の内容をよく聞いて、その意味がよく伝わる言葉を選ぶことにたいへん神経を使いました。

南阿蘇と扶余の今後の交流について、李団長から冬に南阿蘇を訪問したいとの話があり、末永い交流のためにも李団長の提案は、南阿蘇各町村一同嬉しく感じました。（以下11ページへ）

交流風景



「百済青少年の星」について

韓国の受け入れ団体は「百済青少年の星」と言い、青少年の健全育成と指導、地域の後継者育成、文化や遺産の保護と育成そして国際交流を通じての子供達の幅広い人間性を育む事を目的として様々な活動を行っている団体です。団長李鐘澤（イ・チヨンテク）氏以下会員は百名以上を数える。



「平和の家」を前に記念撮影

平和への願いを込めて

南阿蘇の中学生 板門店に立つ

第4回 南阿蘇中学生海外研修

中学生はホームステイ先の方々の温かいもてなしに感動して、別れを惜しみながら扶余の地を後にしました。

バスは一路首都ソウルへと走ります。反省会での感想では、「バスの中では、ホームステイでの感動したことなど色々な思い出が浮かんできて寂しかったです。また絶対会いたいと思いました。」と話していました。

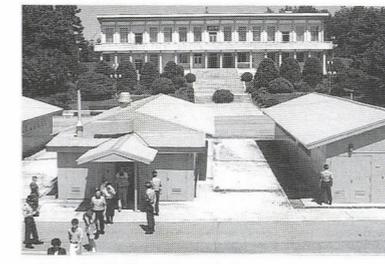
この後、中学生たちは、八月十九日に朝鮮半島を北緯三十八度線で分断しているという軍事境界線「板門店」を見学しました。

板門店は、一九五〇年に勃発した朝鮮戦争の休戦協定が一九五三年に結ばれたところで、ソウルから北に六十kmのところにあります。軍事境界線を境に、南北それぞれ二kmずつ百六十kmにわたって設けられた非武装地帯の休戦ラインには軍事停戦委員会などの建物や自由の家があります。

中学生たちは、「ふだん日本では考えることもない国境を意識することになり、これからも平和であって欲しい」との感想を話してくれました。



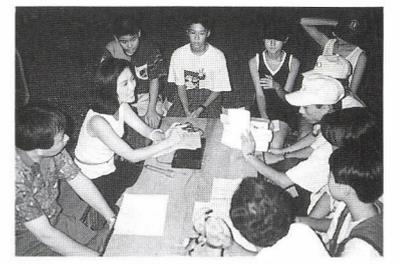
国連軍兵士と記念撮影



軍事停戦委員会の建物



「帰らざる橋」 停戦の時に両側の捕虜がこの橋を渡って送還された。



板門店に行く前々日の交換会に地元ラジオ局の取材を受けた。韓国に来ての感想や受け入れ家庭の感想を聞かれていた。



板門店に行く前日のホームステイ先の人との別れの風景。



民族村での見学風景

たばこ耕作者大会 9/14



本町の葉タバコ生産農家戸数は七十五戸で、本町の年間の粗生産量は、平成四年度は百三十三tで二億三千二百六万円の収穫がありました。昨年は七十七tの一億三千二百二十万と冷害の影響により収穫が激減しましたが、本町の葉タバコ生産はこれまで長い間において、郡内では最上位。県内でも常に十位前後にランクされるなど、本町産業の中でも優位の産業として発展してきました。

しかしながら、農業後継者の減少と近年の禁煙ブームによる影響や、特に昨年の冷害など、葉タバコ生産農家を取り巻く環境は厳しい状況にあります。今後各農家の努力や関係機関の支援によって振興を図っていくという目的から、九月十四日にたばこ耕作者大会が開催されました。

大会では、地域農業研究家の切石忍先生の講演や葉タバコ品評会もあり、大会に参加した耕作者の皆さんは、これからの益々努力しながら、この局面を乗り切ろうとの決意を新たにされていました。

品評会審査結果

- 特賞(野尻野尻善人・古沢信幸)
- 優賞(草部後藤初男・中村募・川部七生)
- 良賞(草部大内田奉文・後藤幸光・阿南武勝(野尻)野尻範仁・野尻誠一)



品評会で特賞を獲得した野尻善人さん(左)と古沢信幸さん

農業委員会だより (14)

農業者年金 (8)

農業者年金の八回目は、一時金について説明します。

一時金には脱退一時金と死亡一時金とがあります。

脱退一時金の支給要件

- ① 農業者年金の被保険者の資格を喪失したこと。
- ② 保険料納付済み月数が資格喪失日の前日において三年以上あり、かつ保険料納付済み期間等が二十年未満であること。

死亡一時金の支給要件

死亡一時金は①の「死亡者の要件」のすべてに該当する被保険者もしくは被保険者であった者または年金受給権者が死亡した場合において、その者に②にかかっている「遺族の要件」のすべてに該当する遺族があるときに、その遺族に支給されます。

一時金について

- ①死亡者の要件
 - ア 保険料納付済み月数が死亡日の前日において三年以上あること。
 - イ 年金受給権者が死亡した場合にあっては、次の(ア)の額が(イ)の額に満たないこと。

(ア) 既に支給を受けた死亡した日の属する月分までの年金給付の総額

(イ) 年金受給権者に該当せず死亡した場合に受け取ることができたであろう死亡一時金の額

(ウ) 脱退一時金の受給権者ではないこと。

②遺族の要件

ア 死亡者の死亡当時、その者の配偶者(第一順位)、子(第二順位)、父母(第三順位)、孫(第四順位)、祖父母(第五順位)または兄弟姉妹(第六順位)であること。

イ 死亡者の死亡当時、その者と生計を同じくしていた者であること。

未支給年金

受給権者が死亡し、その死亡した者に支給すべきであった年金で、またその者に支給されなかった年金がある場合に、一定の遺族がいるときは、その遺族の請求により支給されます。

詳しい事やおたずねは、農業委員会まで、おたずねください。

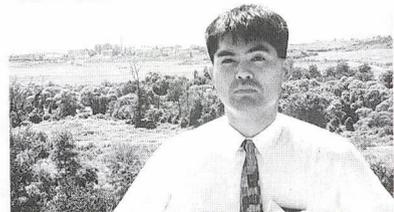


「板門店へ」…みんなで平和を祈願

8月18日は扶余の皆さんと別れる時です。受け入れ家族の心温まる親切に感激したのでしょう。ホームステイ先の家族達と抱き合っ
て泣いている光景があらこちらで見られました。

翌日は板門店に行く日です。板門店には事前に予約した団体旅行
でのみ行く事ができます。バスの中で会議場周辺で絶対してはなら
ない注意を聞きながら、バスは検問所や慰霊塔があるところを通り
過ぎていきます。南北が対立する最前線であることを痛切に感じ、
学生達も緊張を隠しきれない様子でした。自由の橋を渡ると軍人、
専用車の往来が多くなり、緊張感を益々高めながらいよいよ板門店
に到着。ここは、南北唯一の出会いと対話の場であり、今までに発
砲による交戦があったことも聞いていますので、最高に緊張しまし
た。ここから発せられるニュースはいつも世界の注目を浴びていま
すが、この部屋の中に限って、このマイクのコードをまたいで良いこと

になっています。生徒も私も緊張の面もちで北側に入ってみました。こんなに簡単に国境を越えてい
いのかとその時の心境は複雑なものでした。板門店に行き、南北対立
の現場に居るといふスリルと緊張もさることながら、現実の社会生活
とかけ離れた光景を目の前にして、平和の貴さをあらためて感じまし
た。そして同じ民族でありながら、互いに往来できない朝鮮半島の二
つの国の人々に平和が訪れることを願ってやみません。



板門店に立つ飯法師昭誠氏

飯法師さんは西部電気工業株式会社(創
立昭和23年、資本金9億円、従業員1500
名)に勤める通信土木技術の若手研究者。
高校時代からアマチュア無線交信により、
韓国との交流を行ってきた。韓国内の友
人知人は多数。韓国語はNHKテレビ講
座などでの独学。(登録韓国語通訳)
また、今までに南米や中近東など、31
カ国を旅したという世界に視野を広げる
国際派人間。日本人の「心の国際化」の
必要性を感じると話される。

久木野村 飯法師昭誠



再会を約束しての寂しい別れ。力いっ
ぱい手を振ってくれた。

日韓両国の相互理解と友好のために

日本から一番近い隣の国を自分達の足で歩き回った4泊5日間。韓
国のパワーと人々の優しさに接し、学生たちも色々貴重な体験をす
る事ができたと思います。この経験が21世紀の主役となる両国の青少
年の相互理解や育成に役立つことを願っています。そして近年、日本
の企業からの金銭物資面などの援助は頻繁に行われていますが、企業
からの人的ボランティア活動は少ないようで、行く先々で「あなたの
会社はたいへん理解ある素晴らしい会社ですね。」と言われ、会社の理
解に感謝し、その会社の一員であることを誇りに思いました。

今後も両国の交流のために、熊本県や地元南阿蘇に貢献できること
は積極的に協力していきたいと思っています。

今回南阿蘇の中学生がホームステイでお世話になった、『百済青
少年の星』の中学生達が、来年二月初旬に南阿蘇にやってきます。
日程などはまだ決まっていますので分かりたいお知らせしま
す。その際は国際交流の必要性を広くお知らせするために、各受
入れ家庭内での交流風景などを含めて詳しく掲載します。

韓国からのホームステイについて

国際交流についてよく言われるこ
とは、文化や生活習慣の違いはあつ
て当たり前。違いを比較するだけでなく、違いを認め合い、相手
を尊重する気持ちを持つことが交流の第一歩だということです。
今度の貴重な体験をもとにして、国際交流のあり方と必要性や重
要性を考えて、それを多くの人々に伝え、自分の生活や、今後自
分の住んでいる町村や日本のために活し、そして国際交流の重要
性が高まる中での大きな力になって欲しいと思います。



八月三十一日午後二時から蘇陽町馬見原公民館で、今回の海外
研修の反省会が行われました。各町村とも参加した中学生と青年
団リーダーがそれぞれの班ごとと与
えられたテーマのまとめを行いました。
内容は韓国との歴史的つながり、
韓国との現状の相違点、韓国の文化、
韓国の産業、日本と韓国の協力、生
活習慣の違いについてなどで、この
最終的な結果は後日「研修報告書」
としてまとめられることになってい
ます。

文化や風習の違いはあって当たり前。実際に
体験し、互いに様々な違いを認めあい、相手を
尊重する精神から、本当の交流が芽生える

海外研修反省会

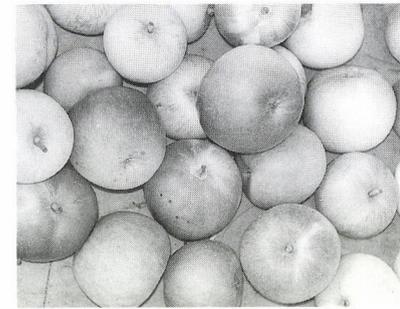
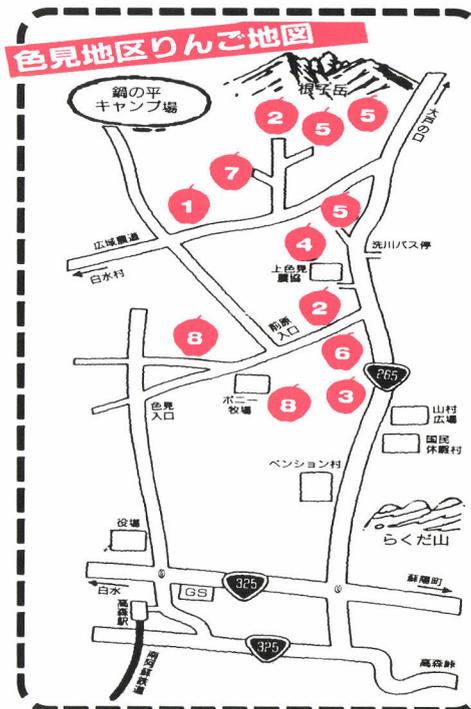


高森りんご園 紹介

入園料無料 1kg 800円

高森には10ヶ所のりんご園があります。
問い合わせは下の各園にどうぞ。

1. 南阿蘇観光りんご園 2-1168
2. (ふじ)観光りんご園 2-1142
3. 平成りんご園 2-0444
4. 高森アップル農園 2-1412
5. 味ーりんご園 2-0374
6. 寅ちゃん観光りんご園 2-1419
7. (勝)ふれあいりんご園 2-1383
8. ポニー牧場りんご園 2-1097
9. 児玉アップル園 4-0539
10. 今村りんご園 4-0533



寒の秋 高森りんご狩り たげなわ
十一月中旬までとれます。ご家族でどうぞ。

高森でりんご栽培を手がけてから七年が
過ぎました。最初の頃は土作りや日照不足
など、色々とむずかしいこともありまし
たが、気候が合ったことやりんご農家の努力
と、長野県の同名の町「高森町」のりんご
農家との交流や指導などによるノウハウの
蓄積によって、水不足の今年も大きな実を
たくさんつけることができました。
家族でのレクリエーションに最適です。
高森の秋を満喫しながら、のんびりと
りんご狩りを楽しんでみられませんか。

9月3日の日曜日に後藤富夫さん(上色見・洗川)の高
森アップル農園が今年もオープンしました。後藤さんはりんご
作りを始めて今年が7年目。毎日奥さんと息子さんの
浩一さん(25歳)と3人で力を合わせてりんごづくりに頑
張ってこられました。「りんごは3年で花が付き、5年目か
ら収穫できます。りんごづくりは袋かけなど手がかかる面
もありますが、手塩にかけて育てた子供の様なもの。毎年
実がなることを楽しみにして精を出しています。これか
ら規模を広げ、他のりんご園と協力し合って観光と結び付
けた取り組みをしていきたい。」と話されていました。

りんごは品種の違いによってとれる時期が少しずつ違
います。一番早いものが8月下旬からの「津軽」で、以後9
月中旬からの「千秋」。そして9月下旬からの「陽光」。最
後は10月末からの「フジ」です。熟していれば、霜が降る
頃でも収穫できるそうです。その品種の一番適した時期に
合わせて、色々な味わいを楽しむことができます。



取り方を親切に教える後藤さん。
今年の第一号のお客さんにポーズ
をとってもらいました。
高千穂から来られたそうです。

今年も『水のサミット』開催される

第7回 全国分水嶺（界）サミット 岐阜県高鷲村 8月30～31日

水に関心を持ち 水に感謝しましょう



昨年本町で第六回のこのサミットが開催されてから一年が経過しました。今年も岐阜県郡上郡高鷲村で全国から集まった市町村民と地元住民などたくさんの人を集めて盛大に開催されました。本町からも水の大切さを学び、今後の水行政に役立たせようと、町長と本町町議会議員以下町議会議員も出席しました。山々の尾根を流れ下る水はやがてまわり、上流域から下流域まで飲料水や農業用水などに利用され、人や動植物には無くてはならないものとなります。その「水の源」ともいえる分水嶺を有する私たちの町など全国五百の分水嶺市町村は下流の人々のためにも自然を守り、環境や水質の保全を図らなければならぬといういわば水源地域としての重大な責任があります。

この分水嶺を有する市町村が年一回集まって上流域の役割と責任や下流域に望むことと交流の必要性。また私たち水源地の文化や歴史と伝統を認識して振興を図ることを話し合い、常に水と自然の大切さを考えていこうと開催されてきたものです。今年のテーマは「水と健康を考える」で、水は生命の源であり、とりわけ「健康」との関係は深いものがあります。水が豊富な日本では「水と安全はタダ」と言われ、水への恩恵は忘れられています。近年「体に良い水」「おいしい水」など、水に関心が寄せられています。これからも水に親しみ、水への感謝をしていきたいものです。来年は高知県の構原町（ゆすはらちょう）で開催されます。



高鷲村は「奥美濃」と呼ばれる郡上郡の最北部、岐阜市から北東約65kmのところにあります。東に鷲ヶ岳（1,671m）と西に大日ヶ岳（1,708m）の大きな山がある風光明媚なところです。人口は約3,600人、総面積は103.71km²で主な産業は高冷地野菜、酪農。またスキー、テニスなど観光産業も盛んです。

国際理解教育講演会



講演するマンガ、マンガ・ルウィン熊本学園大学教授

子どもたちの視野を広げ、来るべき二十一世紀の国際社会に対応できる心を育てようと、高森中学校と同校保護者会では、国際交流に関する講演会を定期的に開催しています。

今回は九月十二日に同校で、ミャンマー（旧ビルマ）から来られた熊本学園大学のマンガ、マンガ・ルウィン教授を講師に招いて講演会が行われました。講演ではミャンマーの紹介や日本との生活、文化の違いや今後の日本の役割、特に東南アジアの発展のために日本子どもたちに期待することなどについての話がありました。



教授が持参されたミャンマーの民芸品

その内容は「日本は物が溢れ、何でも自由にできる社会である。しかし日本人は民主主義と自由を当然と思いつい込みそれらを大切と思う心を忘れてしまっている。また、努力する意気込みや家族のため、人のため、社会のため、国のため、世界のために貢献するという気持ちも忘れられてしまっているのではないか。アジアだけでなく世界の中心の真のリーダーとなる自覚を持つて欲しい。特に今の子供達の奮起を期待する。そして、地球の人口増加は著しいものがある。食料問題と工業化による環境破壊防止のためにも農業を大切にしたい」との話がありました。

町の次代を担う青年たち 北海道で研修

南阿蘇・西部十勝勤労青年交流二十周年記念研修
南阿蘇勤労青年団 北海道 研修



南阿蘇六カ町村が一体となり、このほど勤労青年団の北海道研修を行いました。この研修は今年で二十周年を迎えました。これに合わせて二十周年記念研修として、これまでの北海道研修経験者の参加による記念研修もありました。

民泊して北海道の「大きさ」や産業を体験

各町村二名ずつ十二名が民泊研修に参加。本町からは高森の住吉久美子さんと上色見の本田寅雄さんが参加しました。住吉さん（商業19歳）は「何もかもスケールが大きい事に驚きました。私はレストラン経営の方のところにお世話になりました。また牧場で乳絞りなどの農業も体験して

たいへん勉強になりました」と話されていました。また、本田さん（農業20歳）は「やっぱりスケールの大きさに驚きました。何十キロもまっすぐに続く道路やきれいな自然が素晴らしいです。今回の体験を、自家の農業規模の拡大などにつなげていきたい」と抱負を話されました。

一日も早い同和問題の解決に向けて 第1回 同和問題啓発フェスティバル

未来に向けてヒューマンシップ宣言

と き 10月15日（土）16日（日） ところ 熊本県立劇場（入場無料）
プログラム 15日午前中 奈良教育大学教授 中川喜代子氏講演会 午後3時からデュークエーセスコンサート
16日終日 県内外の郷土芸能が出演 午後1時半からシンポジウムを開催
* この他にも九州・山口の物産展、劇上演、啓発映画の上映などがあります。お問い合わせの上、ご来場ください。詳しいことは、熊本県同和対策課 096-383-1111 内線3738までどうぞ。

ご存知ですか？ 里親制度

短期間でもけっこうです。協力できる方 いらっしやいませんか？

第四十一回「里親を求める運動」

里親制度は、家庭に恵まれない児童のために、家庭的な環境を確保し、児童を心身ともに健やかに育てることを目的とするものであり、わが国の養護児童対策の重要な柱になっています。熊本県内では八十八名の里親登録があり、二十名の子供さんたちが里親の方と幸せに暮らされています。今年も「里親を求める運動」が十月一日から三十一日までの一カ月間全国で実施されます。主な活動内容は次のとおりです。

- 一、保護者がいなかったり、保護者が養育できない場合などに、児童を一般家庭（里親）にあずかり家庭的環境のもとで養育を行う。
 - 二、ひとり親家庭の親が、疾病などの理由で、家庭での養育が困難になったときに児童を里親が一時的にあずかってお世話する。（ショートステイ）
 - 三、ひとり親家庭の親が、仕事などの理由で帰宅がいつも夜間にわたり、児童の生活指導や家事面で困難な場合に児童を里親に通わせ、夕食などの提供を行いお世話する。（トワイライトステイ）
 - 四、保護者が出産、看護、事故、災害などの緊急時に、児童の世話が一時的に困難になった場合、里親が児童をあずかり子育ての支援を行う。
 - 五、児童福祉施設の児童に、家庭の正月やお盆を体験してもらおう。（家庭体験支援事業）
- 短期間の受け入れでもけっこうです。このような活動をしていただける里親さんを求めています。詳しいことは熊本県児童家庭課096・383・1111内線3687か、県福祉総合相談所096・381・4411までおたずねください。